災害救護研究所セミナー

気候変動から いのちを守る

― 人道団体のための気候・環境憲章を知ろう ―

2024. 2.17 |土| 14:00 ▼ 16:00

参加費 無料

開催形式
ZOOM
（ONLINE開催）

写真：アフリカ大陸東部の干ばつ被害／ソマリア・アイナバ地区の難民キャンプにて©SRCS

学校法人　日本赤十字学園
日本赤十字看護大学附属
災害救護研究所
JAPANESE RED CROSS COLLEGE OF NURSING
DISASTER MANAGEMENT RESEARCH INSTITUTE

所在地　東京都渋谷区広尾4-1-3
電　話　03-3409-0684（直通）
Mail　jrcdri@redcross.ac.jp

災害救護研究所　検索

お申込みは
こちらの二次元コードまたは
災害救護研究所ホームページより
お申込みください

気候と環境がもたらす危機から いのちを守るために。

激甚化する水害や猛暑など、気候変動の影響は多くの人々の脅威となっています。日本赤十字社は、150年の長きにわたり苦しんでいる人を救うことを目的として活動を続けてきました。その実績を踏まえ、災害救護研究所では、人間のいのちと健康、尊厳を、現在、そして未来にわたり脅かす気候変動がもたらす様々な脅威に対する取り組みを推進します。

プログラム

開会の辞 富田 博樹（災害救護研究所 所長、学校法人日本赤十字学園 理事長）

挨　　拶 清家　篤（日本赤十字社 社長）

基調講演 「人道団体のための気候・環境憲章について（仮）」
永積 健太郎（日本赤十字社 事業局 国際部長）

研究発表

1 中出 雅治
（災害救護研究所 国際医療救援部門長）
「医療救援の脱炭素化（仮）」

2 曽篠 恭裕
（災害救護研究所 災害救援技術部門長）
「人道技術の共創を通じた
気候変動対策への貢献（仮）」

連盟からのメッセージ キャロライン・ホルト
（国際赤十字・赤新月社連盟 災害・気候・危機管理部 部長）

講　　評 鈴木 俊彦（日本赤十字社 副社長）

閉会の辞 守田 美奈子（日本赤十字看護大学 学長）

1 海外赤十字社の取り組み／干ばつ地帯での植林（アフガニスタン）

2 海外赤十字社の取り組み／被災前の早期避難（バングラデシュ）

3 災害救護研究所の取り組み／自然エネルギーを使った入院患者の食事提供の共同実証

4 災害救護研究所の取り組み／電力供給が可能な燃料電池車の共同実証

参加方法

下記の申込フォームURL、または二次元コードからお申込みください。

https://ws.formzu.net/fgen/S819445036/

災害救護研究所　検索

セミナーは、Zoomを使用して配信いたします。
視聴用のURLは、お申込みをされた方の登録いただきましたメールアドレス宛に配信します。
受信設定をされている方はpostman@formzu.comが受信できるように設定をお願いします。

当日申込可能